



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう

③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

涼しかりけり

一日見ずの瀧のシャンデリアー

園長 野田大燈

若竹学園より約 500 ㍎下った溪谷に「日見ずの瀧」があります。毎年冬の風物詩として地元紙に写真入りで紹介されますが、本年は「氷のシャンデリア」として掲載されました。

日見ずの瀧の名称に二説あります。その一つは深い溪谷にあるために太陽が当たりませんので「日が見れない瀧」と言うこと。

二つ目は、この地全体が天台密教、特に修験道としての修行場でしたので、この瀧場は瀧に打たれての水行場であったために「秘密の瀧」と呼ばれていたそうです。

水量は有料道路の工事以前は一年を通して瀧の爆音が響いていましたが、工事以後は水脈が変わってか水量も減少しました。

それでも高さ約 13 ㍎からの落水は見ごたえがあります。

学園の子供たちは大半が都会育ちですので五色台の自然は魅力的なのでしょうか、例年にない寒さの中を学園から少し離れた遍路接待処から札所の 82 番札所根香寺などを散策しています。

この子供たちが学園下の日見ずの瀧を見逃すは

ずはありません。

全面が凍って銀色に光る氷柱をはぎ取って剣状のツララを各人が寒さで紅潮した顔から白い息を吐きながら意気揚々と帰ってきます

例年なら今頃は数度の積雪で、雪だるまや雪合戦、

そしてソリ遊びに興じているのですが、強い寒波のために積雪しないのです。

子ども達は雪を待ちつつも、ヤギと戯れたりして冬の自然を満喫しています。

福井県の大本山永平寺を開創され道元禅師は傘松道詠歌に【春は花 夏ホトトギス 秋は月 冬雪冴えて涼しかりけり】と詠まれています。

若竹の子ども達はこの自然の中に居て、寒さを寒さと捉えずに『涼しい』と捉えているようです。正に悟りの境地ですね。

児童心理治療施設の若竹学園は、この自然そのものを治療の柱として、医療・教育・生活の支援を加えた環境総合療法として学園生の心身の健康と自立のために努力して参ります。 一了一



青峰・若竹学級だより 1月

3 学期始業式



1 月 9 日に 3 学期の始業式を行いました。新しい年のスタートにふさわしい笑顔や決意に満ちた顔がたくさん見られました。
下笠居中学校の八村校長からは、「ワンダフルな成年になるように、夢に向かってチャレンジする 1 年にしてください。」とお話がありました。

書き初め



小中合同の新春書初め大会では、「出発」「希望」「輝ける未来へ」などの言葉を選んで書きました。慣れない毛筆でしたが、墨の量を調節したり正しい筆運びを意識したりして、見事に完成させました。作品はホールに掲示しており、友だちの書いた文字に興味をもって鑑賞する姿が見られます。



寒さに負けず

1 月に入り気温の低い日が続いていますが、子どもたちは喝破池に張った氷に乗ったり、子ども遍路小屋そばの大きな水槽で見つけた厚さ 10 センチメートル以上の氷を取り出したりして喜んでいました。積雪があった日には、昼休みに雪合戦をして楽しむ姿も見られました。

やぎとのふれあい



学園には現在 3 頭のやぎがいます。皮をむいたみかんをおいしそうに食べるので、子どもたちも楽しそうにふれ合っています。



餅つき

12 月 28 日に餅つきをしました。初めての餅つき体験をしたという子どもいて、「おもちゃってこんなに柔らかいんや…」と喜ぶ姿も見られました。想像していた以上に杵が重たく、なかなかつづくのに苦戦しながらの体験でした。あんこを詰めてころころと転がし、あん餅もつくりました。寒さを感じながら食べるお雑煮はおいしかったようで、大きな餅を 5 つも食べて満足している子どももいました。一足早くお雑煮も食べてお正月の準備が出来たように感じました。



お正月

今年のお正月も「明けましておめでとうございます」の新年の挨拶から始まり、朝から初詣に出かけました。受験生は受験合格にご利益があるように、しっかりお参りしました。その後は、頂いたお年玉で買い物に出かけました。子ども達は、カードやゲームカセット、本などを買って嬉しそうにしていました。また、その日は自分達で食材を買いに行って、夕食作りをしました。お正月ならではの楽しいゆったりとした時間を過ごせてよかったと感じました。



たこ焼き作り

たこ焼きをパーティーをしました。人気のあるたこ焼きを、お腹いっぱい食べれて大満足でした。中に入れるのは、タコだけでなく、チーズ、キムチ、天かすでした。まだまだ食べれると、いつも小食の子どもでもでも沢山食べて喜んでいました。



外遊び(峰山公園・県営球場)

寒くなってきましたが、外遊びで体を動かしてサッカーをしたり野球をしたりする事が増えてきました。6~8人くらいで集まってサッカーをします。気持ちがぶつかって、ケンカになる事もありますが、次またサッカーをしたいとみんな集まります。不思議なもので、自分がボールを沢山持ちたいんだけど、仲良くみんなと遊びたいという気持ちもあって、丁度いい所を探しながらスポーツを楽しんでいます。スポーツから沢山の事を学んでいるようです。



ヤギの飼育

学園で飼育しているヤギに園生が散歩をしたり、餌をあげてくれることで園生を見るとヤギの方から近寄ってくるようになりました。その様子を見て喜んでいたり、照れ隠しで「本当はエサ目的だろ」と言っている園生の表情がニコニコとしていることが印象的でした。現在 3 匹のヤギを飼育しており、冬に向けてたくさんエサを食べて丸くなったヤギを見て「かわいいなあ。」と言っている子もいました。



遍路小屋取材

遍路小屋の取材を受けました。遍路小屋に設置されているトイレの掃除やお遍路さんへの接待をして活動している所を取材してもらいました。

子ども達は、お遍路さんの役に立てるとやっばりうれしいようで、自然と笑顔になっていたのが印象的でした。



1 月の行事

- 1 日 運動会
- 6 日 ウォークラリー
- 10 日 太鼓練習、食育 [餃子作り]
- 21 日 買物学習
- 24 日 クリスマス会
- 25 日 クリスマスメニュー作り
- 28 日 もちつき

在籍人数 平成 30 年 1 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	1	5
	中学生	5	4	9
	その他	1	0	1
	計	10	5	15
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	5	1	6
合計		14	6	20

編集後記 受験生は追い込みの時期に入り、それぞれ頑張っています。寒くなる季節になる為、体調管理もしながら、みんなが力を発揮できるように学園でもサポートしていきたいと思います。 児童指導員 植松圭吾

第 288 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈